「仕事映画」に学ぶ キャリアデザイン

梅崎 修=松繁寿和=脇坂 明

2020 年 7 月発売/238 頁/本体 2600 円+税 45 判/並製











編集 担当者 から

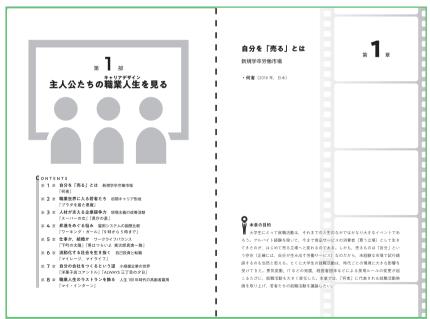
映画はお好きですか? 上映中,登場人物たちと喜怒哀楽をともにするのは,映画鑑賞の何よりの楽しみです。そこに繰り広げられるのは,フィクションとして作り上げられた,まったく個別具体的な世界です。一方,社会科学においては,普遍的な真理に迫るため,個別具

体性は捨象して議論が展開されることが一般的です。学問のこうしたアプローチは、客観的な分析を可能にし、さまざまな真実を明らかにしてきました。しかし、またそのことゆえに、学ぶ者から、研究対象となっている人々の実像や内面が遠ざかってしまうことがありうるのだと思います。社会科学の学びに実質を与えるのは、理論の背後に存在する、社会・人間に対する想像力です。本書は、労働経済学・人的資源管理論・産業社会学などの眼鏡で、映画に映り込んだ仕事・仕事人を覗き、学問研究と文化的コンテンツという2つの世界を架橋することを目指しました。「仕事映画」の学問的解釈を通じて、自らの、あるいは周りの人たちのキャリアデザインに、社会科学の知見をしなやかに活かす面白さを見出していただければ幸いです。(T)

Point!



各章、1~2点の映画を取り上げて、キャリアデザインや労働市場について解説します。



※目次は、小社ウェブサイトの本書のページをご覧ください。

